

# 私学ぐんま

17号  
2015



私立大学スポーツ大会

目次

- 着任のごあいさつ..... 2
  - 群馬県副知事 反町 敦
  - 群馬県副知事 村手 聡
- 理事長ご挨拶..... 2
  - 群馬県私学振興会理事長 森本 純生
- 特色ある私学教育..... 3
- 平成27年度海外研修報告..... 3

- 私学教育～私の思い～..... 4～5
- でーた いま..... 6
- 群馬県私学振興会 会員校(園)名..... 7
- 表彰受賞者..... 8
- コラム..... 8
- 編集後記..... 8

## 着任のごあいさつ

副知事 反町 敦



平成27年8月20日付けで群馬県副知事を拝命いたしました反町敦と申します。昨年度は総務部長として、群馬県の将来を担う子どもたちの教育に携わらせていただきました。引き続き、私立学校教育の更なる振興と充実が図られますよう、精一杯努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしました。子どもたちを取り巻く環境が大きな変革期にある中、県内の私立学校がそれぞれ建学の精神を発揮し、教育や研究の質を高め日々努力されていることは、極めて心強いことであり、引き続き、家庭や地域社会との連携を密にして、豊かな心と健やかな体を備えた子どもたちの育成に尽力していただきたいと思っております。

そのためには、それぞれの学校で、健全かつ安定した運営が行われ、教職員の皆様が安心して教育活動に専念できる環境を整備することが何よりも重要になります。各学校の細かな要望に的確に応え、教育条件の向上のための事業を積極的に展開されている貴会の取り組みにより、私立学校教育の更なる充実・発展が図られることを期待しています。

貴会と私立学校教育に携わる皆様のますますの御発展と御健勝を祈念申し上げ、あいさつといたします。

## 着任のごあいさつ

副知事 村手 聡



平成27年8月11日付けで群馬県副知事を拝命いたしました村手聡と申します。皆様には日頃より、本県私立学校教育の振興に御尽力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

本県では、子どもたちの豊かな心とたくましく生きる力を育成するため、子どもを育てやすい環境づくりや子どもの成長を社会全体で支援する取組を推進しております。子どもたちが持っている無限の可能性は、将来の群馬県をより発展させていく原動力となりますので、大切に育てていきたいと思っております。

昨今の学校教育を取り巻く環境は、少子・高齢化、国際化等により大きく変化していますが、私立学校では、建学の精神に基づき、特色のある、先進的な教育を実践し、次代を担う有為な人材の育成に励んでおられます。

こうした中で、私立学校に対する各種支援事業を実施している貴会の役割は大きく、その役割は、ますます高まっていくものと思います。各私立学校が、素晴らしい人づくりを行っていくためにも、貴会の皆様には引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

次代を担う子どもたちを育てる私学の皆様のお役に立てますよう精一杯努力をしてみますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 理事長ご挨拶

理事長 森本 純生



群馬県私学振興会では、本年度も会員皆様のご理解とご協力により、退職手当資金給付事業、各種貸付事業のほか、新たな試みでありますコミュニケーション研修の実施などが順調に推移しており、心から感謝を申し上げます。

再開後3回目となる海外研修事業では、10月18日から25日までの8日間、オーストラリアを訪問し、佐藤律夫 藤仁館学園理事長を団長とする12名により学校視察等が行われました。お陰様で、参加した教職員の皆さんからも好評で、この研修の成果を、それぞれの学校・園で活かしていただけるものと考えております。

私立学校を取り巻く環境は今後も変化していくことが予想されますが、役職員一致協力して私学振興のための諸事業を行ってまいりますので、引き続き会員皆様のご支援ご協力を宜しく申し上げます。

## 特色ある私学教育

# 技術・技能 日本一を目指して

群馬調理師専門学校・東日本調理師専門学校  
学校法人山崎学園理事長 遠山 巍



1945年、第2次世界大戦でアメリカに敗れた日本は、全ての力を出し切って敗れたので、国内には、食糧をはじめとして何も残っていませんでした。各家庭での男性の多くは戦死したり、負傷したりしていたため、家庭を支えるのは女性でした。彼女たちは、自分の持っている能力、すなわち、料理や裁縫の技術を生かして、料理学校や裁縫学校を設立し、家計を支えました。こうして、家庭料理を教える料理学校や縫い物を教える裁縫学校が日本全国に生まれました。

日本を占領したアメリカ軍の軍人と、アメリカ軍を相手に商売をして儲けた一部の日本人は、毎日の食事にも事欠く日本人を後目に料亭で飲食をしていました。

当時の日本社会は非衛生でしたので、それらの料亭では食中毒がよく起こりました。そのため厚生省は、食中毒防止を目的とした食品衛生法を作り、それを守って調理をする国家資格、調理師資格を作りました。さらに、また、調理師資格取得を目的とした学校、調理師養成施設の指定を始めました。いくつかの料理学校がそれに応えて調理師学校になりました。群馬調理師専門学校はその

ときに設立されました。従って、群馬調理師専門学校歴史は古く、日本の調理師専門学校の中で5本の指に入ります。これによって調理師資格は、調理師専門学校を卒業すると自動的に取得できる方法と、直接受験の方法の2種類が存在するようになりました。最初のうちは、調理師学校卒業の調理師は、直接受験の調理師に馬鹿にされました。しかし、直接受験では、受験資格があいまいな上に、試験にも実技試験がない、ということから、調理師としての能力は、調理師学校卒業生に比べて圧倒的に劣り、これが現在にも続いています。

日本経済が少しずつ上向きになるにつれて、一般の人々も外食を利用するようになり、調理師専門学校の数は段々、増えていきました。

外食を求める人たちは、単に食中毒がない、というだけでは満足せず、美味しい料理を求めます。そのため、調理師専門学校の教育には、食中毒防止の勉強だけでなく、おいしい料理を作る技能教育が加わるようになりました。現在では毎年、全国の調理師専門学校の学生の技能を競う競技会が開かれています。この競技会は、全国をいくつかの地区に分け、それぞれの地区で地区大会が実施され、地区大会の上位入賞者が全国大会に出場します。山崎学園・群馬調理師専門学校は、毎年、全国大会で、最高位の総理大臣賞をはじめとして上位入賞を果たし、全国的に名前が知られています。



## ●●●● 平成27年度海外研修報告 ●●●●

団長 専門学校高崎福祉医療カレッジ学校長 佐藤 律夫

10月18日から25日までの8日間、オーストラリアの教育事情を中心に文化・社会の現状を視察してまいりました。

最初の訪問地ゴールドコーストは単なるビーチリゾートではなく、街には日本人留学生・短期ホームステイを含む修学旅行生がとて多く日本人の海外に向けた意欲の高まりをこの地で改めて痛感し、訪問先の私立高校(幼稚園～高校一貫教育)には国際部という部門があり、何度も来日した経験を持つ国際部長自ら学校を案内して下さり、世界中に向け営業を仕掛けている成長に向けた勢いを感じました。公立高校では、空高く掲げられたオーストラリア国旗と日章旗が我々一行を迎えてくれました。「おもてなし」は日本の専売特許でないこと、コンピュータ教育とコンピュータを利用した教育に日本の遅れを感じ、身の引き締まる思いをしました。

シドニーの幼稚園(大阪の幼稚園の分園)では、日本人の駐在員の子弟を対象に始めたにも拘わらず、園児の多くは日本人ではなく、オーストラリアの人たちの国際性と国民性を垣間見ました。シドニー大学では校旗にオーストラリアの建国時の志の高さと、なりふり構わぬ先進国に追いつこうとする勢いを感じ、今の日本の停滞ムードを打破しなければとの思いを強くしました。

この研修の様々の場面で各人の感性と抱える課題に対するヒントと刺激をやる気に替えた12名の教職員は群馬のよりよい学校教育に貢献する決意を新たにしました。



# 私学教育～私の思い～

## 老働力

群馬医療福祉大学社会福祉学部学部長・教授

笹澤 武



世の中、長寿々と喧しいが、しかし、年毎にわが国の平均寿命は上昇しており、これから先どこまで伸びるのかと好奇心しきりである。今年の敬老の日の新聞記事によると100歳以上が6万1,568人だという。わが目を疑うほどの驚きである。一億総活躍時代に突入した現在、高齢者として傍観しているわけにはいくまい。60、70代はまだまだ元気な人が多い。経験と培った知識を最大限生かし、若い人と共に、わが国の社会分野に貢献すべきと思うが如何なものか。健康寿命を伸ばしかつ財源確保や社会保障費軽減という利点もある。

私は74歳であるが、定年後もずっとフルタイムで勤務している。現在は学部長という重責をも担っている。忘れやすい脳と疲れやすい体に喝を入れ、

日々、孫のような学生達に社会保障や社会福祉政策等を講じている。どんよりした目やキラキラした目といろいろであるが、彼らが近い将来現場に出て、福祉・医療・教育界等を担っていく人になるのだと思うと自然に力が入る。不思議なものでこの年齢になると、明日の私を支えてくれるかもしれないと感じるのだろうか。いやいや、まだまだぞと心の中で叫びつつも彼らが頼もしくも愛おしい。20歳前後の彼らが持つ、溢れるような若いエネルギーはわが国の宝であり、希望という目標にまっすぐベクトルを向けてほしい。

私は、65才以上の方たちの労働を「老働力」と命名し、「老害」などという真に持って不届きな言葉を払拭すべく、心と体の健康を保ちながらますますの「老働力」を同輩と共に発揮したい。

## 星の輝き

関東学園大学附属高等学校教諭

鈴木 信尊

教員生活も20年を超えると私生活の変化とともに教育観も変わっていく。2年前、山を愛しスケッチをすることが趣味であった母を亡くした。母が登頂した山の頂を目指してみたいと思ったのは、自然の流れであったように思える。一人で山へ向かい、下山途中、両膝を痛め、引き摺りながら下るなか足が纏れ転倒した。辺りは暗く人影も無い。鳥獣の鳴き声だけが響く異様な静けさのなかでの孤独と寂しさを感じていた。ふと空を見上げると、やさしく周りを均等に照らす星の明るさが周囲を包み込んでいた。その時の、安堵感と自然の大いなる恵みを改めて感じ取ることができた。無事、下山後の感動と幸福感は今も忘れることは無い。

今、私たちが当たり前のように感じ、見過ごしているなかに実は世界的に見れば大変恵まれている状態が多くあるように思えてならない。あまり

にも豊かで、快適な生活を手に入れたことによってどれだけ今が幸せで恵まれているのか意識しにくくなってきているのかも知れない。自然の恵みのなかで生かされているという謙虚さを持つことこそ、未来を生きる子供達に伝えたい。普段あまり意識することの無かった星の明るさに感謝する気持ちを持てたことは、私にとって貴重な勉強の機会となり、母の存在を確認することにもなった。

最後に、介護離職を考えた時期もあったなか、今も私学人として生徒の前に立つ機会を与えて下さっている本校の先生方・職員の皆様に改めて感謝申し上げたい。



## 今、大切にしたいこと

(認) 原市赤心幼稚園 園長  
佃 益 美

子どもに係わる仕事をするようになってから、いつの間にか30年を超えていました。保育者になりたての頃を思うと、穴があったら入りたいほどの未熟な私でしたが、たくさん子どもと、近くで、あるいは遠くで支えてくださった方たちのおかげで今もこうして子どもと共にいる仕事に携わっています。

私が保育者になりたての頃と今では、保育環境が大きく変化しています。その変化になかなか追いつけず、つい「忙しい」が口をついて出てきます。本来、子どもの前ではゆったりと子どもの時間に寄り添い、心を受け止める仕事であるにもかかわらず、忙しさを理由にその大切なことを後回しにして過ごしているように思います。また、園長という立場になると、職員とゆっくり保育について語り合う事の難しさも感じています。今、目の前

にいる子どもたちが大きくなった時、子ども時代を思い出し、慌ただしさの中でないがしろにされた事ではなく受け入れられ、認められ愛された事を思い出してもらいたいと思います。

児童文学者の石井桃子さんが、「おとなになってから、老人になってから、あなたを支えてくれるのは子ども時代の「あなた」です。」という言葉を残しています。この言葉に出会い改めて大切な子ども時代に出会う大人の一として責任の大きさを感じています。



## 和食世界無形文化遺産からの心意気

群馬調理師専門学校 日本料理 実習主任  
恩 田 雅 弘



日本料理の実習教員として母校に勤務し、11年目となりました。私自身、日本料理の世界に就職、その後、帰郷し現在に至っております。技術の失敗も多く、同じ料理は、2度と作れないからこそ楽しみと遣りがいもあります。料理を作る以上に、人を作ること、調理師を育てることの難しさを痛感しております。

学生と教員の信頼は強く、一人ひとりに寄り添い、将来を見据えた授業内容も我が学園の特徴であります。可能性を秘めながら技術向上を求め早朝、放課後練習で日々、技術を習得、学生自身が求道の眼で学んでおります。

平成25年12月4日に「和食」がユネスコ世界無形文化遺産に登録され、NHKテレビを通じて、本校より全国に向け、日本料理専攻学生の歓喜の映像が発信されました。

日本の食文化をはじめ、食事作法、食材への感謝を含めた食育についても見直す機会となり、和

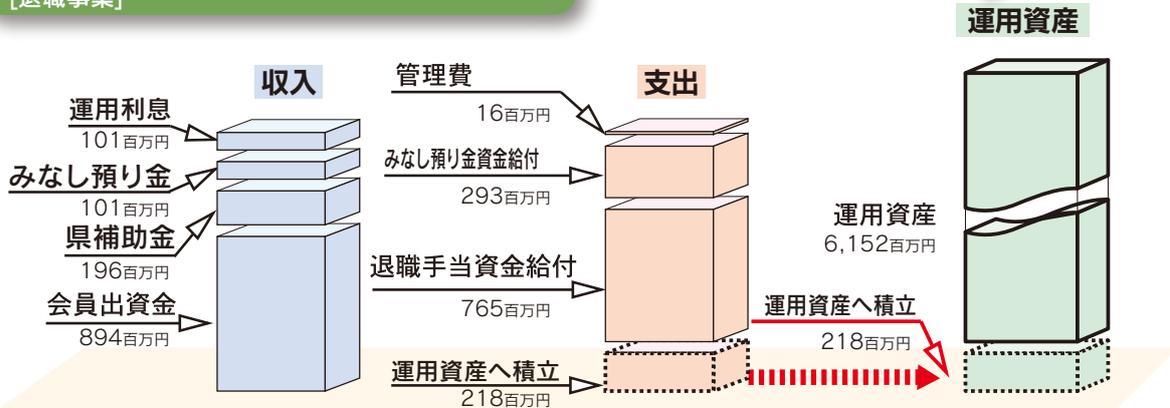
食離れの現代において、改めて日本料理の素晴らしさと和食が世界へ認められ、調理師を目指す若者にとっても、これほど嬉しいこと、誇らしいことはありません。和食に希望の道が広がるきっかけとなったように思います。

何事にも自信を持たない学生たちに、調理師としての骨格を構築するのは、教員の熱と力に他ならない。学生の将来を見つめる時、今、この瞬間こそが大切であると感じます。人間形成を軸に技術を磨き、知識を得、その経験、体験を通し、誰のためなら頑張れるのかを自分自身に問いかけ、学生たちに価値ある学園生活を送らせてやりたいと思います。

調理師免許を取得させ、世界を舞台に活躍できる学生を一人でも多く、輩出したい。そういうロマンを学生と共に語りあっております。すぐに結果が出ない教育の現場で、10年後、20年後、彼らが世界に羽ばたき活躍してくれると確信しております。

平成26年度  
[退職事業]

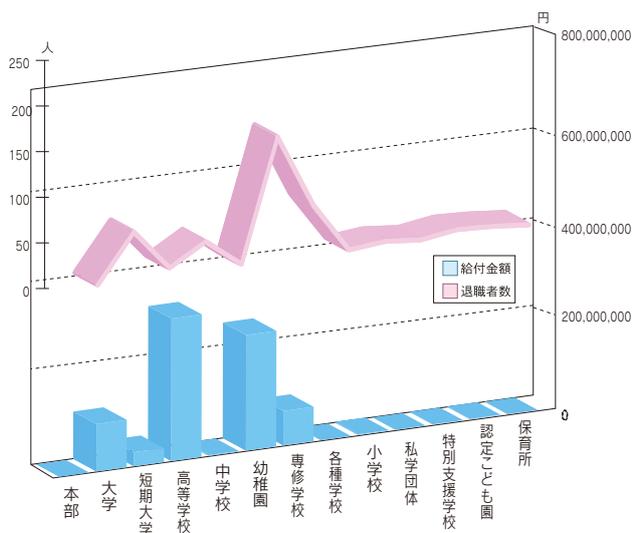
## 決算と基金造成の状況



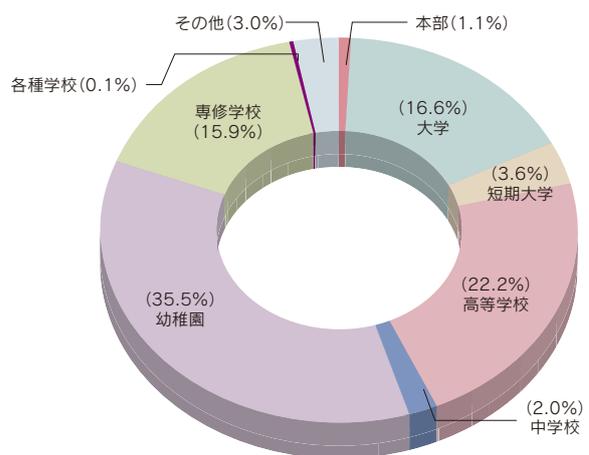
収入 1,292百万円 - 支出 1,074百万円 = 運用資産へ積立 218百万円  
 出資金・補助金・利息等 退職手当・管理費等 将来の給付に備え基金造成  
 年度末運用資産額 6,370百万円

退職手当資金給付制度は、毎月の会員（学校）から納入された出資金と毎年交付される県の補助金を原資に、教職員が退職したときに支給される退職手当の資金を、会員（学校）に給付する制度です。

### 学種別退職者数と退職金資金給付額



### 学年別登録教職員数



### 平成26年度 学種別会員学校教職員数・退職手当資金給付状況

学種	学校数(本部除)	教職員数	退職者	給付金額	退職者一人当り金額
本部	(11)	35	0	0	0
大学	7	499	54	96,440,365	1,785,933
短期大学	8	108	8	28,660,400	3,582,550
高等学校	14	670	32	289,230,250	9,038,445
中学校	5	59	1	1,578,748	1,578,748
幼稚園	121	1,069	139	234,714,598	1,688,594
専修学校	49	480	56	69,981,882	1,249,676
各種学校	5	2	0	0	0
小学校	2	34	4	1,701,000	425,250
私学団体	4	3	0	0	0
特別支援学校	1	8	6	661,500	110,250
認定こども園	7	39	4	1,137,000	284,250
保育所	2	6	0	0	0
総計	225	3,012	304	724,105,743	2,381,927

# 群馬県私学振興会 第1号会員及び第2号会員校(園)名

[平成27年10月現在]  
\*五十音順

## 《学校法人本部》

小倉学園本部  
共愛学園本部  
桐丘学園本部  
群馬育英学園本部  
群馬英数学館本部  
群馬県美容学園本部  
高崎商科大学法人本部  
奈良原学園本部  
新島学園本部  
平方学園本部  
未来学園本部

## 《大学・短期大学》

共愛学園前橋国際大学  
桐生大学  
群馬医療福祉大学  
上武大学  
高崎健康福祉大学  
高崎商科大学  
育英短期大学  
桐生大学短期大学部  
高崎商科大学短期大学部  
新島学園短期大学  
明和学園短期大学

## 《高校・中学》

学芸館高等学校  
関東学園大学附属高等学校  
共愛学園高等学校  
桐生第一高等学校  
ぐんま国際アカデミー高等部  
樹徳高等学校  
白根開善学校高等部  
高崎健康福祉大学高崎高校  
高崎商科大学附属高等学校  
東京農業大学第二高等学校  
常磐高等学校  
新島学園高等学校  
前橋育英高等学校  
明和県央高等学校  
共愛学園中学校  
桐生大学附属中学校  
ぐんま国際アカデミー中等部  
樹徳中学校  
白根開善学校中等部  
新島学園中学校

## 《小学校》

ぐんま国際アカデミー初等部

## 《特別支援学校》

若葉高等学園

## 《幼稚園・認定こども園》

愛の光幼稚園  
朝日が丘幼稚園  
あさひ幼稚園  
阿左美幼稚園  
安中二葉幼稚園  
石井幼稚園  
いずみ幼稚園  
いそべこども園

いちごばたけ幼稚園  
いなり幼稚園  
えのき幼稚園  
太田いずみ幼稚園  
太田仁愛幼稚園  
太田幼稚園  
大利根南幼稚園  
大利根幼稚園  
大間々南幼稚園  
鬼石幼稚園  
粕川幼稚園  
甘楽幼稚園

きざきまち幼稚園  
共愛学園幼稚園  
桐生大学附属幼稚園  
金山幼稚園  
くまの幼稚園  
群馬医療福祉大学附属鈴蘭幼稚園  
ぐんま幼稚園  
恵泉幼稚園  
元景幼稚園  
光泉幼稚園  
高南幼稚園  
国分寺幼稚園  
こだま幼稚園  
木の実幼稚園  
こひつじ幼稚園  
駒形幼稚園  
駒寄幼稚園  
櫻丘幼稚園  
さくら幼稚園  
サムエル幼稚園  
さわらび幼稚園  
山王幼稚園  
三宝幼稚園  
敷島幼稚園  
慈教幼稚園  
慈照幼稚園  
渋川大島幼稚園  
樹徳幼稚園  
城南幼稚園  
しょうび第一幼稚園  
しょうび第二幼稚園  
上武大学附属幼稚園  
常楽幼稚園

白ゆり幼稚園  
白ばら幼稚園  
城山幼稚園  
新明幼稚園  
すぎの子幼稚園  
すみよし幼稚園  
すみれ幼稚園  
清華幼稚園  
聖クララ幼稚園  
清心幼稚園  
清風幼稚園  
静和第三幼稚園  
静和第二幼稚園

第二あさひ幼稚園  
第二ひかり幼稚園  
台之郷幼稚園  
高崎健康福祉大学附属幼稚園  
高崎商科大学佐藤幼稚園  
高崎天使幼稚園  
たから幼稚園  
田部井幼稚園  
ちぐさ幼稚園  
堤ヶ岡幼稚園  
東部文化幼稚園  
富岡幼稚園  
中居幼稚園  
中川幼稚園  
長野幼稚園  
なかよし幼稚園  
七日市幼稚園  
認定富士こども園  
沼田幼稚園  
のそみ幼稚園  
のびのび幼稚園  
原市赤心幼稚園  
榛名愛育幼稚園  
東別所幼稚園  
東横野幼稚園  
ひかり幼稚園  
ひばり幼稚園  
ひまわり幼稚園  
ひろせ幼稚園  
藤岡開成幼稚園  
藤岡幼稚園  
富士見幼稚園  
二子山幼稚園  
宝泉北幼稚園  
ポケット幼稚園  
マーガレット幼稚園  
まさば幼稚園  
松原幼稚園  
みどり幼稚園  
水上わかくりこども園  
南幼稚園  
三山幼稚園  
明星幼稚園  
みよし第二幼稚園  
みよし幼稚園  
むつぎ幼稚園  
むつみ幼稚園  
明德幼稚園  
明和幼稚園  
元総社幼稚園  
桃瀬幼稚園  
八幡幼稚園  
隆興寺幼稚園  
わかくさ幼稚園  
若葉幼稚園

## 《学校法人立保育所》

共愛学園木瀬保育園

## 《専修・各種学校》

育英メディカル専門学校  
伊勢崎美容専門学校  
大泉文化服装専門学校  
太田医療技術専門学校  
太田情報商科専門学校  
太田動物専門学校  
大原スポーツ公務員専門学校高崎校  
大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校  
緒形裁縫学院  
小野池学院  
群馬県美容専門学校  
群馬県理容専門学校  
群馬社会福祉専門学校  
群馬朝鮮初中級学校  
群馬調理師専門学校  
群馬動物専門学校  
群馬日建工科専門学校  
群馬パース福祉専門学校  
群馬プライダルビジネス専門学校  
群馬法科ビジネス専門学校  
群馬法科ビジネス専門学校桐生校  
小百合料理学園  
さわらび服装専門学校  
白ゆりファッション専門学校  
シルバー高等編物学院  
専修学校群馬芸術学園  
専門学校太田自動車大学校  
専門学校群馬自動車大学校  
専門学校高崎福祉医療カレッジ  
高崎歯科衛生専門学校  
高崎動物専門学校  
高崎ビューティモード専門学校  
高崎ペットワールド専門学校  
高崎和服専門学校  
中央医療歯科専門学校  
中央工科デザイン専門学校  
中央高等専修学校桐生校  
中央高等専修学校前橋校  
中央情報経理専門学校  
中央情報経理専門学校高崎校  
中央農業グリーン専門学校  
柘植経理学校  
柘植珠算学校  
中島和洋裁縫学院  
NIPPONおもてなし専門学校  
NIPPON 語学院  
ニュースタイル学院  
東群馬看護専門学校  
東日本栄養医薬専門学校  
東日本製菓技術専門学校  
東日本調理師専門学校  
東日本デザイン&コンピュータ専門学校  
東日本プライダル・ホテル・トラベル専門学校  
フェリカ建築&デザイン専門学校  
前橋医療福祉専門学校  
前橋東洋医学専門学校  
前橋文化服装専門学校

# 表彰受賞者

## 受賞おめでとうございます

### 県功労者表彰

野口 秀樹（明照学園）理事長

安斉 義宏（高崎商科大学附属高等学校 教諭）

井出 聖和（高崎商科大学附属高等学校 教諭）

### 永年勤続者顕彰

上和田 直（高崎商科大学附属高等学校 教諭）

高橋美智子（共愛学園高等学校 講師）

岡庭 和江（高崎健康福祉大学高崎高等学校 教諭）

越智 啓二（共愛学園高等学校 教諭）

堤 治朗（桐生第一高等学校 教諭）

岩崎 繁（共愛学園高等学校 教諭）

寺内 理恵（桐生第一高等学校 事務職員）

春山 忠信（共愛学園高等学校 教諭）

常見えり子（常磐高等学校 教諭）

山中 善美（前橋育英高等学校 教諭）

植竹みゆき（常磐高等学校 教諭）

佐藤 達也（前橋育英高等学校 教諭）

大坪 太（常磐高等学校 教諭）

ショート  
コラム

### 《思い出の入り口》

爽やかな朝を迎え、校門をくぐった。足元に落ちていたドングリを手に取りし  
ばし佇んでいた。それはタイムトンネルの入口の切符であったのだ。眺めている  
うちに口ずさんでいた。「小さな手のひらの中に大切な木の実握りしめ・・・」と。  
それは、子どもが幼かった頃に、林(ヤマ)に出かけドングリを拾った思い出と  
この歌が重なって今に生きている。

樹木には、昔に引き込む不思議な力があるように思える。教育の難しさや悩め  
る時にこそ、樹木に話しかけてみたい。健康で自信に満ちた吾の姿を見せてくれ  
るだろう。

若者が手にするスマートフォンは、まさに文明の利器この上ない。しかし、タ  
イムトンネルの入口があるのだろうか。

H.N



### 編集後記

もっと多くの皆さんに読んで頂けるように、今回号から内容を刷新しようということになりました。

目標は、私学で働いていることの口マンをもっと打ち出して行こう、ということで、管理職、ベテランの先生、新人の先生方に、自分の失敗談、心構え、心意気、夢を語って頂きました。

また、専門知識を披露したコラムを設けました。私学ぐんまはこのコラムで持っている、と言われるように、自称・ベテランのコラムニストが腕を振ります。皆様のお勉強になりますように。  
(副委員長 遠山 巍)

公益財団法人 群馬県私学振興会

理事長 森本純生

広報委員会

鈴木利定・遠山 巍・根岸 弘・柳 晋

〒371-0854

前橋市大渡町1丁目10番7号

群馬県公社総合ビル6階 私学センター内

TEL 027(255)6851 (振興会)

027(280)6207 (退職資金事業)

FAX 027(280)6208

URL

<http://www.shigaku-gunma.or.jp>

平成27年12月発行

